

三里山 - 里山 -



三里山



クリ・コナラ林

選定理由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 29種（面積約1,000ha）

自然の概要	三里山の植生は、植林されたスギ林が中心で、その中にアカマツ林や雑木林が点在しています。樹高が高く、大径木のある林では、アオバズク、コサメビタキなどの鳥類、雑木林では、近年県内での生息地が減少しているエチゼンケマイマイの生息が確認されています。
保全すべき主な環境	巨木林、雑木林
自然保護関係法の指定	三里山鳥獣保護区（一部）
もっと詳しく知りたい人へ	福井県自然環境保全基礎調査報告書,p131-139 [三里山]

該当地の位置



里の生き物紹介 エチゼンケマイマイ（柄眼目オナジマイマイ科）

殻の直径が7.5mmの小型のカツムリの一種で、殻の表面には三角形の突起がたくさん生えています。滋賀県や北陸地方に分布していますが、県内では、落葉広葉樹林に局所的に生息し、落ち葉の下で生活しています。最近では、すみかが開発されたりして、5か所で全滅しているほか、個体数も急激に減少しています。

保全すべき環境に生息・生育している生物



アオバズク
県域絶滅危惧 類
大径木林などに夏鳥として渡来し、主に樹洞を利用して繁殖



エチゼンケマイマイ
県域絶滅危惧 類
里山の落葉広葉樹の落葉下に生息



サンコウチョウ
県域準絶滅危惧
大径木の社寺林、スギ林、落葉広葉樹林に生息



サシバ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息



コサメビタキ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息